

## 平成28年 第15回宇都宮市教育委員会会議録

- 1 日時 平成28年9月23日(金) 開始時刻 午後1時30分
- 2 場所 宇都宮市役所13階 教育委員室
- 3 出席者 水越教育長, 大場委員, 若度委員, 伊藤委員, 山田委員
- 4 説明員 篠塚教育次長, 小堀学校教育担当次長, 梓澤教育企画課長, 増淵総務担当主幹, 神谷学校管理課長, 栗原学校教育課長, 大島学校健康課長, 大久保生涯学習課長, 伊藤中央図書館長, 松本文化課長, 阿部スポーツ振興課長, 小林教育センター所長
- 5 書記 大出課長補佐, 小島副主幹, 田上係長, 横塚係長, 関総括, 大毛主事
- 6 傍聴者 1名
- 7 議題
  - (1) 審議事項
    - 議案第31号 宇都宮市学校教育問題対策専門委員会委員の委嘱について
    - 議案第32号 宇都宮市文化財保護審議委員会委員の委嘱について
  - (2) 報告事項
    - 報告第46号 平成28年9月議会一般質問の概要について
    - 報告第47号 教育行政相談の内容と対応について
    - 報告第48号 隣接校との通学区域弾力化等による平成29年度入学者の募集について
    - 報告第49号 平成28年度教育委員会主要事業の進行管理について
    - 報告第50号 教職員の負担軽減策の取組状況について
    - 報告第51号 教育支援者感謝状受賞者の決定について
    - 報告第52号 平成28年度「とちぎっ子学習状況調査」の結果概要について
    - 報告第53号 学校等事件・事故について
  - (3) その他
    - ① 「第11回うつのみや食育フェア」の開催について
    - ② 宇都宮市視聴覚ライブラリー運営委員会の結果について
    - ③ うつのみや親学と子どもの情報誌「こどもるっくる」第11号について
    - ④ 市民大学後期講座について
    - ⑤ 美術館企画展「スター・ウォーズ展」について
    - ⑥ 第22回うつのみや百人一首市民大会について
    - ⑦ 蓮生記念 第3回 全国競技かるた宇都宮大会について
    - ⑧ 「かがやく わたしの 写真展」の開催について

## 8 議事の内容

- 教育長 ただいまから、平成28年第15回宇都宮市教育委員会を開会します。  
会議録署名委員の指名 大場委員，伊藤委員
- 教育長 第14回教育委員会の会議録についてご意見などありますか。  
(特になし，全員了承)  
大場委員，山田委員に署名をお願いします。(会議録に署名)
- 教育長 議案第31号，議案第32号，報告第47号及び報告第53号は，「個人情報が含まれているもの」であるため，非公開としてよろしいでしょうか。
- (全員賛成)
- 教育長 全員賛成ですので，これらにつきましては非公開といたします。
- 教育長 それでは，報告事項に入ります。  
報告第46号 平成28年9月議会一般質問の概要について説明願います。

総務担当主幹

### 【説明要旨】

#### 主な質問と答弁の概要

○ 9月1日 小平美智雄議員

#### 4 性暴力被害対策について

- ・ 教育機関での対応について

性暴力等を未然に防止するための教育段階における適切な時期での性教育や人権教育，情報教育などの指導を強化する必要があると考えるが，市の対策を伺う。

⇒ 本市においては，全中学校で「性に関する講話」を実施するなど性教育の充実に努めている。また，デートDV防止に関する出前講座の開催や啓発資料の作成など人権意識を高める取組を行うとともに，情報機器の危険性などを示した事例集を作成するなど情報モラル教育にも取り組んでいる。

さらに，今年度は「スマホ・ケータイ宮っ子ルール共同宣言」に基づく，「フィルタリング設定100%キャンペーン」を実施し，徹底を図った。

今後とも，学校教育全体を通じて性暴力等の未然防止を図る指導の充実・強化に努めていく。

#### 6 教育の情報化について

- ・ 教育の情報化加速化プランへの対応について

I C Tを活用した「アクティブ・ラーニング」の活用や授業の学習面と校務面の両面でのI C T活用による(仮称)スマートスクール構想の実証研究など「教育の情報化加速化プラン」に示されている教育の情報化施策に積極的に取り組むべきと考えるが，見解を伺う。

⇒ 本市においては、これまで、ICT環境の整備や校務システムの導入など、いち早く教育の情報化に努めてきた。

今後は、これまでのICT機器に加えて、今年度から導入するタブレット型パソコンを有効に活用し、アクティブ・ラーニングの充実に努めるなど、「教育の情報化加速化プラン」を踏まえながら教育の情報化施策に積極的に取り組んでいく。

なお、児童生徒が使用する学習システムと教職員が使用する校務システムを接続しデータを共有することにより更なる教員の業務負担軽減と教育の質の向上を目指す「スマートスクール構想」については、これまで、学習システムと校務システムを分離することにより情報セキュリティの確保に努めてきたことから、国の動向を注視していく。

○ 9月1日 綱河秀二議員

#### 4 いじめの根絶に向けて

- ・ 教職員が変わることが、一番のいじめの未然防止につながると考えるが、いじめ防止、根絶に向けて、学校ごと、地域学校園ごとに具体的にどのように取り組み、いじめがどのように推移しているのか、また教職員にどのような変化が見られるのか伺う。

⇒ 本市では、平成20年度から「いじめゼロ運動」を展開し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に積極的に取り組んできた。

また、各地域学校園における「児童生徒指導強化連絡会」を開催し、教職員が情報を共有しながら、小中学校の継続的な指導に努めている。

各学校における「いじめ等対策委員会」の開催や校内研修マニュアルを活用した研修などにより指導力の向上を図り、教職員がいじめをきめ細かに察知するとともに、一人で抱え込むことなく、組織的に対応できるようになってきた。

これらの取組により、いじめの件数は平成19年度の370件をピークに、平成26年度には、半数以下の174件にまで減少した。

○ 9月2日 黒子英明議員

#### 7 公立小中学校における施設の整備と統廃合について

##### (1) 公立小中学校の老朽化に伴う整備について

校舎などの雨漏りや生徒の自転車置場などの老朽化が進んでおり、早期に公立小中学校の施設整備をする必要があると考えているが、老朽化した施設整備をどのように進めていくのか伺う。

⇒ 耐震化完了後は、より一層、重点的に老朽化対策に取り組む必要があるため、学校施設の長寿命化を基本とし、大規模改造工事の優先順位や整備内容などについて検討を行い、計画的に校舎の大規模改造工事などを実施できるよう取り組んでいく。

##### (2) 公立小中学校の統廃合について

現在の学校数を維持した場合は、老朽化に伴う公立小中学校の整備が今後ますます行き届かなくなることが考えられる。

全国的に小中学校の統廃合が進む中、自治会の思いもあり、非常にデリケートな問題であると考えているが、本市では公立小中学校の統廃合についてどう考えているのか伺う。

⇒ 教育の機会均等と教育水準の維持向上を図るため、通学区域の変更や弾力化、小規模特認校制度の導入により、学校規模の適正化を図ってきた。

このような中、地域における学校の重要性がますます高まっていることに加え、当分の間、本市の児童生徒数が大きく減少しない見込みであることから、現時点では、現在の学校数を維持することとしている。

○ 9月2日 今井政範議員

(4) 宇都宮美術館所蔵作品の利活用について

著作権保護期間が過ぎて、自由に取り扱うことのできる所蔵作品の活用状況と今後の計画について伺う。

⇒ 本市が所有する6,620点の作品のうち、1,507点は著作者の死後50年が経過しており、これらの作品は、美術館の所有作品を紹介するパンフレットに掲載するなど一部を活用しているが、作品の著作権を有する国との関係において、著作権保護期間の延長措置があるなど、国際間における複雑な権利関係が存在することから、今後、作品の著作権の権利関係などを見極めながら、活用を図っていく。

○ 9月5日 内藤良弘議員

9 北西部地域の総合体育施設の整備について

・ 北西部地域の総合体育施設の整備については、平成28年3月定例会で「宇都宮市スポーツ施設整備計画」の改定の中で検討していくとの答弁があり、今年度に入り、5ヶ月が経ったが、現在の進捗状況を伺う。

⇒ 北西部地域への体育施設の機能整備については、体育施設全体の利用状況や、周辺施設の現状も踏まえ、新設の必要性や整備する場合の施設機能の骨格、望ましい立地エリアの考え方も含め検討を行っている。

今後、計画素案として整理し、市スポーツ推進審議会や地域の皆様の意見をいただき、年度内の計画策定に向け取り組んでいく。

○ 9月6日 金崎英美子議員

(2) 部活動の問題について

・ 部活動内部における人間の尊厳を損なう生徒へのハラスメントや、教師への強制的ともいえる顧問問題について、検討する時期に来ているのではないかと思うが見解を伺う。

⇒ 部活動指導における暴言などのハラスメントについては、体罰と同様、人権侵害行為であり、指導の留意点を「宇都宮市立中学校の部活動指針」や「部活動指導者ハンドブック」に示し、未然防止の徹底に努めている。また、教職員の不適切な指導などについては、保護者が直接校長等と相談できる機会を設けるなど、体罰等の根絶に向けて取り組んでいる。

今後とも、生徒がいきいきと活動できる適切な部活動の運営を推進していく。

部活動の顧問については、学習指導要領において、部活動は学校教育の一環として位置付けられており、管理上の責任を伴うことから、教職員が顧問を担う必要があるものとする。また、部活動顧問は、経験のない種目を担当することもあることから、学校の要請に応じ外部指導者を派遣することで、顧問の技術指導の支援に努めている。

○ 9月6日 宇賀神文雄議員

4 本市の図書館のあり方について

・ 指定管理者制度による図書館の運営は、市民へのサービスに問題は生じないのか伺う。

⇒ 本市図書館の指定管理者制度は、民間と行政の特性を生かした管理運営を行うため、窓口業務や施設の維持管理業務は指定管理者、購入図書の設定や高度な調査相談業務などについては、行政の業務としている。

このような業務のすみ分けにより、民間事業者のノウハウとともに、行政の専門性が十分活用されており、利用者満足度の高い評価に繋がるなど、市民サービスの向上が図られている。

教育長

説明が終わりましたが、質疑などありますか。(特になし)

このとおり承認してよろしいか。(全員了承)

それでは、報告第46号を決定いたします。

教育長

報告第48号 隣接校との通学区域弾力化等による平成29年度入学者の募集について説明願います。

教育企画課長

【説明要旨】

○ 平成16年2月に策定した「学校規模の適正化に向けた通学区域見直し実施計画」に基づいて実施している、「隣接校との通学区域弾力化制度」及び「小規模特認校制度」による、平成29年度入学児童募集について報告する。

○ 両制度とも、平成28年10月3日から平成29年1月13日までを募集期間とし、応募者数が募集人数を超える場合は、抽選により入学承認者を決定する。

教育長

説明が終わりましたが、質疑などありますか。

伊藤委員

両制度について、昨年度の申請者数は募集人数を超えているのか。

教育企画課長

「隣接校との通学区域弾力化制度」については、一部申請者数が多い学校があったものの、学校と協議した上で、全ての申請者の入学を承認している。「小規模特認校制度」については、清原北小学校において、募集人数11名のところ、15名から申請があったため、抽選を行った。

伊藤委員

抽選はどのように行っているのか。

教育企画課長

予備抽選によって本抽選を引く順番を決定し、その後、本抽選で入学承認者を決定するという2段階の抽選を行っている。

山田委員

来年度入学する新1年生へはパンフレットを配付しているとのことであったが、それ以外の学年については、どのように周知しているのか。

教育企画課長 広報紙に掲載するとともに、本市HPにも掲載している。小規模特認校に興味がある方は、パンフレット等により周知する前に、保護者同士の口コミ等により、学校を見学している方もいる。また、市教委による周知以外にも、それぞれの学校が独自にポスター等を作成するなどにより周知している。

大場委員 新入学児童募集とあるが、年度途中での転入学は可能なのか。

教育企画課長 城山西小学校については、第1学年以外にも、年度当初からの転入であれば可能としている。両制度とも、年度途中での入学は原則として認めていない。

教育長 このとおり承認してよろしいか。(全員了承)  
 それでは、報告第48号を承認いたします。

教育長 **報告第49号 平成28年度教育委員会主要事業の進行管理について**説明願います。

教育企画課長 **【説明要旨】**

○ 市教委で行っている主要事業の進捗状況について報告する。昨年度は委員協議会において非公開で報告していたが、教育委員会会議の透明化を進めるため、本年度は定例会において公開案件として報告する。

**教育企画課**

① 人づくりの推進

- 生涯学習課が進めている「大人のモラル向上啓発事業」や人づくりフォーラムにおける「人づくり討論会」を活用し、「大人の行動目標」を定める。

② 新設小学校の整備

- 8月28日に地元説明会を開催した。開校までの対応等についてご意見をいただいたが、概ねご了承をいただいた。

**学校管理課**

① 学校施設の老朽化対策

- 校舎大規模改造の建築年次に代わる老朽化指標を設定するため、平成29年度から平成30年度の2か年でコア抜き調査を行っていく。

② トイレの洋式化計画の推進

- 6月に平成28年度のトイレ改修工事の発注及び契約を行った。平成29年度以降は、小学校のトイレを優先的に改修するとともに、避難所となる体育館は便器交換に特化した改修を行う。

**学校教育課**

① 小中一貫教育・地域学校園の推進

- 各種研修を開催するほか、学校園ごとの担当指導主事を配置し、学校訪問などを実施しているが、学校園ごとの取組の差を解消するため、さらに充実させていく。

② 学校教育推進計画の策定

- 平成29年度を目途に策定する。本年度は状況分析を行いながら、学校教育推進委員会等を開催し、策定に向けた検討を行っている。

- ③ 学力の向上
  - ・ 家庭学習の習慣化に係る教職員向けリーフレットを配付したほか、8月には宿泊研修である、中学校英語教育研修を実施した。今後は、次期学習指導要領に向けた対応を検討していく。
- ④ 心の教育の推進とたくましさの涵養
  - ・ 「心を育てる50の言葉」をスタンダードダイアリーに掲載して全児童生徒に配付したほか、「宮っ子心の教育表彰」教育長奨励賞の募集を行っている。今後は、道徳の教科化を踏まえた指導資料の作成・配付を行う。
- ⑤ 学校経営の改善
  - ・ 「児童生徒と向き合う時間の充実に向けたアクションプラン」に基づいた取組を実施している。報告第50号で詳細を説明する。
- ⑥ 児童生徒指導の強化
  - ・ 昨年度よりスクールソーシャルワーカーを活用し、家庭や関係機関との連携強化を図っている。本年度も同様に取組の強化を図っていく。

#### 学校健康課

- ① 食育・体力向上推進計画の改定
  - ・ 現行の「宇都宮市学校教育食育推進行動計画」及び「宇都宮市小中学校体力向上推進計画」の評価・課題の抽出を行うとともに、国等の動向の情報収集を行っている。
- ② 学校・家庭・地域・企業が連携した食育の推進
  - ・ 本年度は、4月に学校給食献立を料理レシピサイト「クックパッド」に掲載した。今後は、各校での米飯給食を推進するほか、「お弁当の日」の成果を取りまとめ、より一層効果的な取組手法を検討していく。
- ③ 体力向上の推進
  - ・ 本年度5月には、栃木SCの協力のもと、体力向上サポーター派遣事業を開始し、全16校で実施する予定である。「元気っ子チャレンジ」では、投力の向上のため、ボール投げリレーを実施した。今後は、全数調査である「元気っ子健康体力チェック」を活用し、優良校の取組紹介や課題のある学校への指導強化を図っていく。
- ④ 部活動の充実・部活動のあり方の検討
  - ・ 本年度4月に、部活動の適切な運営を徹底するため、部活動指針にかかる通知を行ったほか、研修会等を開催した。また、国等の動向の調査を行い、部活動指針の見直しを検討している。

#### 生涯学習課

- ① 地域教育の着実な推進
  - ・ 本年度4月から、大人のモラル向上啓発物の制作に向け、準備を行っているところである。今後は、ボランティアスタッフ制度の円滑な運用のため支援を行っていくほか、地域人材マッチングの効果的なモデルについて検討していく。
- ② 家庭教育支援の推進

- ・ 研修の実施や情報誌の発行などにより保護者への啓発を行っている。本年度8月末現在の親学出前講座実施件数は48件であり、昨年度よりも1件多くなっている。今後はたくましさの涵養のため、宇都宮版親学の充実を図る。
- ③ 魅力ある学校づくり地域協議会事業の推進
  - ・ 地域コーディネーター研修や新任校長研修などの実施により、各協議会の活動支援の強化を図っている。今後は、地域コーディネーターの複数配置の促進や地域協議会活動への協力者・参加者の拡大を図る。
- ④ 宮っ子ステーション事業の推進
  - ・ 「放課後子ども教室」実施校区の拡大を図っており、6月に築瀬小で事業が開始した。今後は学校区ごとの実情に応じた支援方策を検討する。
  - ・ 「子ども・子育て支援新制度」の円滑な実施のため、事業運営支援を行っているほか、次年度利用希望調査等を実施している。今後は、平成29年度からの支援単位の上限引き下げに適切に対応するとともに、障がい児アドバイザー派遣制度により、訪問支援を行っていく。
  - ・ 宮っ子ステーションの運営に係る事務負担の軽減や、必要とするすべての児童を受け入れられるよう、各子どもの家の状況を踏まえながら支援していく。
- ⑤ 市民の読書活動の推進と読書環境の整備
  - ・ 河内図書館指定管理者説明会を実施し、本年12月議会で指定管理者を指定予定。8月には中央、東、上河内、河内図書館で公衆無線LANが導入された。今後は、様々な市民への読書活動の啓発を行うほか、デジタル化した地域資料の活用方法を検討する。

#### 文化課

- ① 歴史文化基本構想の策定及び日本遺産認定に向けた取組
  - ・ 本年7月には、歴史文化基本構想の策定支援業務委託契約を締結し、8月には策定懇談会を開催した。今後は、文化財の総合的把握に向けたワークショップ等を開催し、基本構想策定に向けた検討を行っていく。
- ② 文化情報の集約発信機能の強化
  - ・ 「まちなか歴史文化情報交流拠点」の整備に向け、庁内検討を行っており、今後は、先進都市の状況把握を行っていく。
- ③ 宇都宮市文化会館の改修及び円滑な開館準備
  - ・ 本年7月末時点での工事進捗率は40.5%であり、予定通りに工事が進んでいる。また、来年4月の内覧会及びオープニング記念式典についての検討を開始した。
- ④ 宇都宮伝統（ふるさと）文化継承事業の推進
  - ・ 本年4月から伝統文化体験教室の募集を開始し、応募のあった14校のうち、2校で体験教室を実施した。
- ⑤ 百人一首事業の推進
  - ・ 本年度は8月から「あなたの好きな百人一首和歌（大人編）」の募集を開



始した。そのほか、各種イベント等の場で百人一首に親む機会を設けるとともに、百人一首「いろは新聞」を発行する。

#### スポーツ振興課

##### ① 「ひとり1スポーツ」の推進

- ・ 地域スポーツクラブ事業の推進のため、本年7月に地域スポーツクラブ連絡協議会総会を開催した。また、8月には、上河内地区において、クラブ設立に向けた地域状況ヒアリングを行った。
- ・ 第30回となる宇都宮マラソン大会の開催に向け、本年6月に実行委員会を開催し、内容の検討を行った。
- ・ 保健所健康増進課で行っている、健康増進事業との連携のため、ワーキング会議等に参加し、検討を進めている。
- ・ 来年度開催される関東スポーツ推進委員研究大会の開催に向け、先催市の情報収集等を行っている。

##### ② スポーツ施設整備計画の改定

- ・ 本年5月から策定委員会を開催し、検討を行っている。今後は各種関係団体との意見調整を図っていく。

#### 教育センター

##### ① 特別支援教育の推進

- ・ 本年度より、かがやきルーム指導員を全校に配置した。また、合理的配慮に係る基本方針の検討を行っている。今後は、かがやきルーム利用者の増加への対応を検討する。

##### ② 不登校の減少に向けた取組の推進

- ・ 本年4月に新たな適応支援教室である「まちかどの学校」が開校した。また、7月には不登校対策指導資料を作成し学校に配付した。今後も、不登校に係る教職員の対応力の向上を図っていく。

##### ③ 教職員の資質・能力の向上

- ・ 大量退職大量採用に係る若手及び中堅教員の指導力向上に向けた研修等を実施した。また、次期学習指導要領の改訂に備えた研修（道徳・英語）を実施した。

##### ④ 情報教育の推進とICTの効果的な活用

- ・ 本年8月には、中学校4校において、新システム導入業者及びリース業者が決定した。今後は、導入したICT機器の多様な活用方策を検討していく。

教育長

説明が終わりましたが、質疑などありますか。

伊藤委員

学校施設の老朽化対策において、コア抜き調査を行うとあったが、これは、鉄筋の錆の状況などを調査し、実質的な老朽化の状況を把握するものであるとの理解でよいか。

学校管理課長

ご指摘のとおりである。コンクリートのコア抜きを行い、鉄筋の腐食の状況を調べるほか、コンクリートの強度を計測し、劣化の状況を把握することが目的である。

伊藤委員	学力の向上にかかる取組の中で、英語教育研修を行ったとあったが、これは中学校教職員向けのものであるのか。
学校教育課長	3年間で全中学校教職員が研修を受けることとなる。本年度は全体の3分の1の教職員が参加した。
伊藤委員	参加した教職員の様子はどうであったか。
学校教育課長	研修中は、休憩時間等においても英語で話すように徹底したところであり、参加した教職員はみな意欲的に取り組んでいたとの報告を受けている。
伊藤委員	こういった研修には楽しみながら参加していただければと思う。
若度委員	宮っ子ステーション事業について、未実施校は何校残っているのか。
生涯学習課長	現在51校で実施していることから、残り17校である。
大場委員	大人のモラル啓発に係る体験談を募集しているとのことであるが、体験談をどのように活用していくのか。
生涯学習課長	いただいた体験談については、人づくり推進委員会等での審査により、8作品まで絞り込み、啓発物を作成する予定である。11月27日開催する人づくりフォーラムにおいて発表し、その後、小学校を通して保護者へ配付していく。
教育企画課長	人づくりフォーラムで本年度実施する「宮っこ討論会」には、本事業で体験談を提出した児童のうち数名に出演していただき、大人はどうすべきかを議論してもらおう予定である。また、この議論をヒントに、うつのみや人づくり推進委員会において、大人の行動目標を策定していきたいと考えている。
教育長	このとおり承認してよろしいか。(全員了承) それでは、報告第49号を承認いたします。
教育長	次の、 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">報告第50号 教職員の負担軽減策の取組状況について</span> ですが、こちらは、新たな取組となります。教育委員からの提案があった教育課題等について、事務局から報告を行うものです。 今回は若度委員及び山田委員からご提案いただきました「教職員の負担軽減策の取組状況について」報告を行いたいと思います。 それでは、説明員より説明をお願いいたします。
学校教育課長	<p><b>【説明要旨】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本市では、平成26年度に、「児童生徒と向き合う時間の充実に向けたアクションプラン」を策定し、学校への調査・照会文書の縮減や成績処理システムの改善などの、事務負担軽減に向けた具体的な取組内容や時期等を明確にした。</li> <li>○ 平成27年度に実施したアンケートでは、アクションプランの取組により校務の忙しさが「大いに減った」「減った」と回答した割合が50%であり、一定の効果があった。今後は、アクションプランの効果について、教職員の実感をより一層高める必要がある。</li> <li>○ 国のタスクフォースによる報告「学校現場における業務の適正化に向けて」で報告された具体的な改善方策については、既に取り組んでいるものが多数である。今後は、部活動運営の適正化の促進を図るほか、中・長期的には、学校徴収金業務の公会計化や部活動指導員（仮称）の導入などについて検討する。</li> </ul>

教育長	説明が終わりましたが、質疑などありますか。
大場委員	校務分掌に係る業務を負担に感じている教職員が多いとのことであったが、学校規模の違いによって業務負担に差があるのか。
学校教育課長	一概には言えないが、学校運営に必要となる校務の種類は学校規模の大小で変わるものではないため、小規模校の方が一人の教職員が持つ校務が多くなり、負担が大きくなる傾向にある。しかし、小規模校は児童数が少ないことから、一つの校務にかかる業務量も少なくなるため、比較はなかなか難しいところである。
大場委員	現在の校務の全てが本当に必要なものであるのか、疑問に感じる。
教育長	校長会においても、校務の精査について検討を行っているところである。
若度委員	夜遅くまで職員室の電気が点いているのが目立つ。学校施設の貸出を行っているなど、事情があるのだと思うが、もう少し合理的な手法を検討していただきたい。
学校教育課長	ご指摘のとおり、一部の教職員が夜遅くまで残っている状況はある。時期によって業務の多寡が変わるため、必ずしも同じ教職員が残っている訳ではないと考えている。教職員は、子どもたちと向き合う時間を少しでも多く確保しようと努めており、細かい業務はどうしても子どもたちの下校後に取り掛かることになってしまう。また、授業の準備は子どもたちの習熟度に合わせて行っていくため、授業実施前日の夜間に行うことが多くなってしまっている状況がある。こういった部分については、なかなか早期に改善することが難しいため、これまで手作業で行っていた業務をシステム化するなど、業務の効率化を図ることにより、業務時間の短縮に努めている。
山田委員	新たに地域連携教員が設置されるなどにより、教職員の役割がさらに増えている状況もある。そういった教職員へのアンケート調査等を行うことにより、現状を把握していただきたい。また、平成27年度に実施したアンケート調査では、児童生徒と向き合う時間が「確保できている」「十分でないが確保できている」と回答した割合が85%になったとのことであったが、「確保できている」と回答する方が増えるよう、取組を継続していただきたい。
学校教育課長	教職員は、様々な校務がある中で児童生徒と向き合う時間を確保していることから、「十分でないが確保できている」という回答が多くなっているのだと考えている。今後も、児童生徒と向き合う時間の確保に向け、取組を進めていきたい。
教育長	地域連携教員については、学級担任の教職員が兼務する状況では、機動力に欠けており、十分に活用しきれていないのが現状である。
山田委員	社会教育主事の資格を持った教職員は、各校に1名程度しかおらず、どうしても負担が集中してしまう。今後、有資格者が増えることなどにより、負担が軽減されればと思う。
教育長	様々なご意見をいただきまして、ありがとうございました。 それでは、報告第50号を承認してよろしいでしょうか。(全員了承) 報告第50号を承認いたします。

教育長

報告第51号 教育支援者感謝状受賞者の決定について説明願います。

教育企画課長

【説明要旨】

- 学校教育への支援活動を行っている個人・団体に対して感謝の意を表するとともに、支援活動の広がりを期待し、感謝状を贈呈する。
- 対象は、子どもの育成に関わる支援を原則5年以上実践し、市内に主な活動拠点がある個人・団体が対象となる。本年度は83件の個人・団体の推薦があり、審査の結果、81の個人・団体を受賞者として決定した。
- 感謝状贈呈式は、11月27日に開催するうつのみや人づくりフォーラムの中で執り行う。

教育長

説明が終わりましたが、質疑などありますか。(特になし)

このとおり承認してよろしいか。(全員了承)

それでは、報告第51号を承認いたします。

教育長

報告第52号 平成28年度「とちぎっ子学習状況調査」の結果概要について

説明願います。

学校教育課長

【説明要旨】

- 県内の小学4・5年生及び中学2年生に実施した「とちぎっ子学習状況調査」の結果について報告する。
- 全学年全教科の平均正答率が県平均を上回っており、特に中学校において顕著である。これは、各地域学校園で小・中学校が共通理解の下に学習規律の徹底を図り、児童生徒が集中して授業に臨めるようにしていることや、発問や学習形態を工夫して児童生徒の興味・関心を高め、じっくり考えさせる指導等を大切にしていることによるものと考えられる。
- 各学習内容の定着状況はおおむね良好なもの、漢字、面積の求め方、観察・実験の仕方などの基本的な内容の一部に、定着が不十分なものが見られる。また、文章表現の工夫や根拠を明確にして説明することについての課題、文章を書くことに対する児童生徒の苦手意識が見られる。
- 授業の冒頭に目標を示す活動等が丁寧に行われているものの、授業の最後に学習したことを振り返る活動、自分の考えを書く活動の充実に課題が見られる。また、家庭学習の指導について、小・中学校ともに学校全体による共通した取組が推進されているものの、児童生徒の家庭学習の習慣が十分に身に付いているとは言えない状況が見られる。
- 今後は、「全国学力・学習状況調査」の結果等を踏まえ、課題の解決に向けた取組を強化していく。

教育長

説明が終わりましたが、質疑などありますか。

伊藤委員

自分の考えを書く力や自分の言葉で説明する力を高めることは非常に難しいことである。まずは、子どもたちが自分で考えたり、自分の言葉で表現しようとする気持ちを教職員が汲み取り、聞いてあげることが必要ではないか。授業の中でそれを実現するのは、難しい課題であると思うが、取り組んでいただきたい。

学校教育課長 ご指摘のとおり、書く力を高めることは難しいことであり、日々の指導が欠かせないものであると考えており、現在は、ノートをしっかりと作る指導や日記を書く指導を行っている学校が増えていると感じている。また、委員ご指摘の「聞いてあげること」は学校だけでなく、家庭の協力も不可欠であると考えている。今回行った児童生徒質問紙調査では、「家の人と学習について話をしている」割合が県平均を上回っていることから、この点を上手く活用していきたいと考えている。

大場委員 家庭学習の習慣の定着については、ここ何年かにわたっての課題となっている。習慣化させるには、低学年のうちから取り組む必要があるため、まずは家庭において生活習慣を規則正しくしていく必要があるのではないかと考えている。

学校教育課長 ご指摘のとおり、家庭学習の習慣化だけに取り組むだけでは定着しない。規則正しい生活を行い、毎日の生活の中に学習を取り入れていくことが必要であると考えている。

山田委員 小学校の高学年ごろからは、携帯電話の使用時間が増加し、家庭学習の時間が減少してしまうことから、PTAなどと連携して啓発していきたい。

教育長 このとおり承認してよろしいか。(全員了承)  
それでは、報告第52号を承認いたします。

教育長 次は、「その他」の案件になります。  
「その他」の案件については資料提供のみですので、後ほどご覧ください。

#### 【公開できる案件の終了】

教育長 これからの議案については非公開の案件となりますが、本日は傍聴者が既に退席されていますので、引き続き審議を行います。

#### 【非公開審議の開始】

議案第31号 宇都宮市学校教育問題対策専門委員会委員の委嘱について

⇒ 決定

議案第32号 宇都宮市文化財保護審議委員会委員の委嘱について

⇒ 決定

報告第47号 教育行政相談の内容と対応について

⇒ 承認

報告第53号 学校等事件・事故について

⇒ 承認

【非公開審議の終了】

教育長 以上で議事は終了となりますが、委員の皆様から何かご意見などございますか。  
(特になし)

教育長 それでは、事務局から連絡事項をお願いいたします。

事務局 連絡事項説明

- 10月定例会の日程について
  - ・ 10月21日(金) 午後1時20分 集合(教育委員室)
  - 午後1時30分 庁舎発
  - 午後2時～ 宇都宮市民大学後期講座開講式
  - 午後3時～ 定例会
  - 午後4時30分～ 委員研修

教育長 ここで、今月をもちまして任期が満了となります。若度委員から、ひと言ご挨拶をいただきたいと思っております。

若度委員 4年間でしたが、皆様のご支援のおかげで、無事に任期を終えることができました。何事も、無事に終えることができるというのは幸せなことだと思います。本当にありがとうございました。

教育長 以上をもちまして、本日の委員会を閉会といたします。  
終了時刻 午後3時30分

署名委員

---

署名委員

---